

耐えて時を待つ桜
母校では四月八日、第五十五回入学式が挙行され、五五二名の新入生が入学。太平台の素晴らしい環境の中での高校生活に勤んでいることと思います。

耐えて時を待つ桜

雨の合間の澄み渡った青空、白い雲、太陽を浴びて爽やかな色彩を放つ山々や木々、そして可憐に咲き誇る花々、この様な日本独特の四季のうつろいの中愈々初夏の候となり、会員の皆様はご健勝にてご活躍のことと存じます。



花開く、母校への清かな思い

同窓会会长 中 磨 輝 美
さや



清々しい母校

永吉信夫奨学会
このたび第九期生の永吉信夫氏より、母校の発展の為に寄与したいとのことで多額の浄財が母校に寄附され、その運用が母校と同窓会に委任されました。

誠に有り難くその真心に対し心より敬意を表する次第であります。これより本人の意向を汲ん

今年は一月に未曾有の大雪に見舞われ、各地に大きな災害をもたらし、大自然の脅威をまさまさと見せつけられました。被災された方々に心より御見舞申し上げます。

降り積もる雪を眺めながら今年ほど春が待ち遠しく感じたことはなかつたと思ひます。

寒さが一段と厳しい冬に思うことは、早く南の方から春の便

りが聞こえてこないかではないでしょうか。つまり桜の花のつぼみが色づき膨らみ始める

ことを待っています。季節の移り変わりの中でも特に冬から春への移り変わる姿ほど大自然の営みの力強さ、躍動感を感じさせることはないのではないかと思ひます。あの未曾有の大雪のなかでじっと耐えていて春を待ち、時節がめぐれば爛漫と咲く桜花。



発行者 學校会
國學院大
栃木高等
同窓会
(〒328-8588)
栃木市平井町608番地
電話 0282-22-5511

第37号

桜はただ春に春を待っているのではなく、冬の厳しい自然環境の中で寒さにじっと耐えながら如何に美しい花を咲かせようかと只管に力を蓄えているのでしょう。そして春の訪れと共に待ち侘びている人々のためにも一気に花を咲かせてくれるのであります。そして私たちの心を癒やし和ませてくれます。

桜は冬の寒さも逞しく耐えて実直に春を待ち、明るい、爽やかな花を咲かせてくれます。我々の人生においてもこの「自然の理」から学び得るものがあり、耐えて時を待たなければならぬことが多いあるのではないかでしょうか。

古来花王と称せられ日本の花の象徴である桜の持つ自然界の姿と、母校の校訓である「たくましく直く明るくさわやかに」が相通じるものがあると実感した次第であります。

卒業生三十周年の集い

昨年は恒例により第二十一期生卒業三十周年の集いが栃木市において同窓生一八九名が出席して開催されました。折しも伊勢神宮の二十年に一度の式年遷宮の年にあたり、その意義は国家国民が永遠に若々しい生命力を保つよう祈ることにあるといわれております。常に若々しくあることを「常若」というそうですが、この精神に倣って卒業三十周年を機に高校時代の若々しい精神に立ち返ることは、人生において意義のあることです。本年も第二十二期生の会が開催されますので、今後も継続されることを願っています。又五期生の集い、第十一期生還暦の会なども開催される予定です。

同窓会も一月二十八日、第五十二回卒業式の前日に入会式が行われ、本年度卒業生を含め、同窓生も三万三千五百九十五名となりました。母校発展の為に会員の皆様方の更なるご支援、ご協力を切にお願い致します。

退職職員の國柄への想い

地歴公民科 西 克幸先生

長く勤められる先生方が多い中で、私は七年間の國柄生活でした。短い期間ではありました。が、教員として成長させて頂いたと心より感謝しております。

緑深き太平山の麓で多くの生徒たちとともに笑い、ともに涙した思い出を胸に四月より東京のミッションスクールへ移ることとなりました。七年間で出会えた生徒、教職員、保護者そして同窓生の皆様本当にありがとうございました。

初めて國柄を訪れたのは採用試験の日で、相模原市から始発の電車に乗り、ちょうど東武電車は生徒が通学している時間帯でした。電車の中で英単語の本で懸命に勉強している生徒達が國柄生でした。よく勉強するなと思ったのが最初の印象です。

その後採用され一、二年目は副担任として、三年目以降は担任として特別選抜コースで教鞭を執らせて頂きました。どの学年も厳しい先生方の要求に対して、必死に努力し学力を上げたいと思します。初めて受け持った中高一

貫クラスの生徒が、全員現役で大学に入学してくれて安心したことを覚えています。

初めてのクラスで、厳しく生徒に接してしまったことを反省しています。その生徒達の多くが来年度に教育実習で國柄に戻りますが、教壇に立つ姿を見られないのは残念です。國柄中の六年間を通して教師を目指したいという気持ちを持つてくれたことをとてもうれしく思います。修学旅行で彼らと訪れた伊勢神宮で全員が長時間の正座をすることになり、阿鼻叫喚を極めたこともいい思い出となっています。また、東日本大震災の瞬間もこのクラスで現社を教えていました。「この規模の地震は間違いない、東海・東南海・南海の三連動地震だ」などとクラスの後ろにある日本地図ですぐに説明したもの、実際は東北の太平洋岸ということでもさすがに想定外の出来事であったと覚えています。最後のクラスとなつた特選二年二組もまとまりがあり、毎日が本当に充実していました。彼らと作成したDVDは

一生の宝物です。

先日、ふとインターネットで下野新聞をみると、そのクラスの生徒であった現三年生の上野梓さんが陸上女子七種競技で一年ぶりに県大会の記録を更新したことを知りました。教え子の活躍ほど嬉しいニュースはありません。同窓生の皆様もそうだと思いますが、やはり國柄の部活動での活躍は心身共に疲れいる私たちに活力を与えてくれるもの一つだと思います。

ぜひ学園は、今後も部活動が強化できる環境を整えて頂きたいと思います。同窓生の皆様にはその応援をお願い致したいと思います。



國學院大學栃木高等学校 卒業生教職員の会

(土) 平成二十五年八月三十一日

國學院大學栃木高等学校卒業生教職員の会が開催されました。当日の出席者は四十名で、有意義なひとときを過ごしました。

懇親会に先立ち、國學院大學栃木学園教育センターにおいて、

近藤秀人氏(栃木県教育委員会事務局上都賀教育事務所所長補佐兼学校支援課長)の司会のもとに講演会が開催された。講師は東北福祉大学教授の岡田清一氏で、「津波・原発被災地小学校の現在」と題した講演は防災教育の重要性を再認識させるものとなつた。

最後に全員で校歌を斉唱し、万歳三唱、赤木信之氏(結城市立結城中学校校長)の閉会の辞をもって会は終了した。

校教頭による来賓紹介のあと、下山忍氏(埼玉県立越谷北高等学校校長)の音頭で乾杯、歓談となつた。途中、本校の歴史を振り返るDVDを観て昔を懐かしんだ。

万歳三唱、赤木信之氏(結城市立結城中学校校長)の閉会の辞をもって会は終了した。

第 21 期生 集いの会

平成二十五年十月二十六日(土)、二十一期生の「卒業三十周年集いの会」が栃木サンプラザにおいて開催された。母校から影山博学校長、中山富夫教頭、渡辺昭登氏(筑西市立明野中学校長)挨拶、影山博校長挨拶、昌弘氏(さいたま市立仲町小学校長)挨拶、影山博校長挨拶、島村圭一氏(埼玉県立越谷南高等学校教頭)の司会のもと開催された。星野晃一氏(鹿沼市立板荷中学校校長)の開会の辞で始まり、次いで幹事代表の常見等学校の末永きご発展をお祈り申し上げます。

母校に誇りを持ち、どんな時でも國柄を見守り応援していただければ幸いです。最後となりましたが國學院大學栃木中学・高等学校の末永きご発展をお祈り申し上げます。

会は長澤厚史実行委員による開会の辞で幕を開け、荒川浩幸実行委員長挨拶、来賓を代表して中曽輝美同窓会会长・影山博校長の挨拶と続き、岩下浩之副実行委員長の音頭で乾杯。なかしい恩師や級友を囲んだ歓談となつた。

恩師への記念品の贈呈の後、全員で声高らかに校歌を斉唱、齊藤健副実行委員長による手縛めの後、小藤有彦実行委員の閉会の辞をもって会は終了した。

熊谷ラグビー場で開催された第15回全国高等学校選抜ラグビー フットボール大会で三位の栄冠を勝ち得た。これは、選抜大会 冬の花園での全国大会を通じて 栃木県勢として初めての快挙である。

大会は三月三十日よりはじまり、母校チームは予選リーグを 三戦全勝で突破して、決勝トーナメントに駒を進めた。四月四日、ベスト4入りをかけて、花園ベスト8の実績を持つ大阪朝鮮高校と対戦した。試合は、石井雄大主将の活躍で40-14と完勝した。



四月六日の準決勝。花園準優勝校で、近年は「東の横綱」と称される神奈川の桐蔭学園と対戦した。5点を先制された母校は、前半20分に、約10メートル、モールを押して井上剛志選手がトライ。砂子裕哉選手のゴール キックも決まって逆転。前半を 21-12で折り返した。後半13分に再逆転を許したが、あきらめがトライを決め、一点差に詰め寄った。しかし、追撃は及ばず

母校のラグビー部が、埼玉の熊谷ラグビー場で開催された第15回全国高等学校選抜ラグビー フットボール大会で三位の栄冠を勝ち得た。これは、選抜大会 冬の花園での全国大会を通じて 栃木県勢として初めての快挙である。

大会は三月三十日よりはじまり、母校チームは予選リーグを 三戦全勝で突破して、決勝トーナメントに駒を進めた。四月四日、ベスト4入りをかけて、花園ベスト8の実績を持つ大阪朝鮮高校と対戦した。試合は、石井雄大主将の活躍で40-14と完勝した。

男子
81kg級
金田康
れられた。

平成26年度 大学入試結果

大学名	人数
国公立大学	
秋田大学	1
茨城大学	1
宇都宮大学	5
大阪大学	1
帯広畜産大学	1
香川大学	1
岐阜大学	1
群馬大学	4
埼玉大学	4
信州大学	1
千葉大学	1
筑波大学	1
電気通信大学	1
東京学芸大学	1
新潟大学	2
福島大学	2
宮城教育大学	1
山形大学	1
横浜国立大学	1
琉球大学	2
岐阜薬科大学	1
新潟県立看護大学	1
兵庫県立大学	1
福井県立大学	1
その他の公立大学	11
国公立大学計	48
私立大学名	人数
私立大学	
國學院大學	132
青山学院大学	4
学習院大学	2
北里大学	5
慶應義塾大学	2
国際医療福祉大学	4
国際基督教大学	1
自治医科大学	2
成蹊大学	2
成城大学	4
聖心女子大学	1
中央大学	4
津田塾大学	3
東京女子大学	3
東京理科大学	5
獨協医科大学	3
文教大学	5
法政大学	5
明治大学	6
明治学院大学	4
立教大学	1
立命館大学	5
早稲田大学	2
その他の私立大学	270
私立大学計	475
4年制大学計	523

ラグビー部 全国選抜大会三位

に28-29で惜敗した。

今年度の母校チームに大型選手はおらず、15人中7人が160cm台という出場校中最も小型なチームであった。全国制覇という夢は現実になりつつある。大いに期待したい。

全国選抜柔道大会 無差別級第五位 山内真子



第36回全国高等学校柔道選手権大会が三月二十、二十一日と二日間にわたって日本武道館で開催された。母校から男女四名が栃木県代表として出場し、無差別級の山内真子選手が五位に入賞した。

山内選手は一回戦から登場し、広島代表に判定勝ち、続く三回戦は岐阜代表に内股を決めての一一本勝ちと危げなく勝ち進んだ。迎えた準々決勝では北海道代表の佐藤杏香選手と対戦した。果敢に挑んだものの一步及ばずについた。敗れた。無差別級を制した相手に戦い抜いた山内選手には温かい拍手が送られた。

太選手、90kg級新井輝選手は積極的に攻めたが共に一回戦敗退。女子52kg級万月結加選手は一回戦で惜しくも判定負けを喫つた。

全国という大きな舞台で臆すことなく戦った経験を糧に、更なる活躍を期待したい。

進学状況 難関大学に多数合格

母校の「鍛える教育」は、年々着実に進学実績を伸ばしている。五二期生の大学入試の成果も目覚しいものであった。

国公立大学では、難関中の難関である旧帝の大坂大学をはじめ、筑波大学や横浜国立大学、そして地元の宇都宮大学などに合格者を出した。私立大学では早稲田大学、慶應義塾大学、国際基督教大学をはじめ、学習院大学や中央大学などの難関校に多数の生徒が合格を果たした。

中でも獨協医科大学医学部医学科をはじめとし、医学科に4名の生徒が合格をするなど、医学への関心が近年高まっている。

ドイツのマックス・プランク 中等教育学校と交流協定締結

クス・プランク中等教育学校と母校との間で教育的交流の促進を目的とした協定が締結された。

継続的な交流のために協定を結びたいという強い要望が伝えられ、協定締結に至った次第である。

調印式開始前には、母校箏曲部によりドイツの童謡や『さくら幻想曲』など日本の伝統的な曲が会場入口ホールで演奏され、歓迎ムードを盛り上げた。



協定書披露



協定書に署名する両校長

②四年制大学に進学する者の中から学業が優秀で、品行方正な生徒。

③文化部の中から、全国レベルの活動を行っている部活動。

④全国レベルの大会（文化活動に限る）において顕著な成績を残した生徒。

【奨学金の給与】

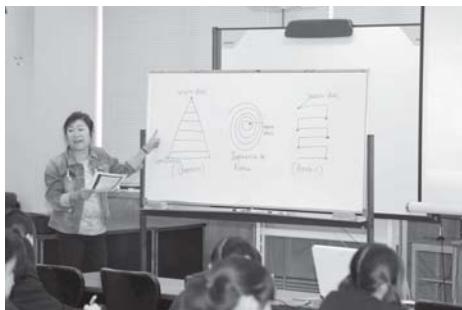
ア奨学金は、年額五十万円。一個人（団体）の給付額が三

永吉氏は現在、東京にある麻布個人指導会の代表取締役として、中学受験生への個人指導教室を併設しながら専門家庭教師を派遣している。奨学金贈与の規程は次の通り。

永吉信夫奨学会設立される

十万円を限度とし、無償譲与する。
イ 給与対象は五名程度（団体を
含む）とする。

グローバルコース講演会



講演の様子



▲さかはし矢波氏（東京フィルハーモニー交響楽団フルート奏者）による奉祝演奏



▲母校箏曲部による歓迎演奏



記念品贈呈 ▶

▼マックス・プランク中等教育学校生徒と積極的に交流するグローバルコースの生徒



▼茶道裏千家直門澤田宗翠先生
によるお茶のおもてなし



午後二時からのコンサートには二七〇名以上が来場し、演奏者のトークを交えたソロ演奏が八曲、合奏曲が四曲演奏された。「アイーダ」「あまちゃん」「となりのトトロ」などのなじみの曲の演奏や楽しいトークで大いに盛り上がった。会場は終始心地よい音色と和やかな雰囲気に包まれ、コンサートは盛況裡に終了した。

方々から二時間以上にわたる指導を受けた。その後、同施設内のレクチャーホールで東フィルのメンバーと参加者全員による合奏が行われ、会場全体が充実感に満ち溢れていた。

平成二十六年六月十四日(土)母校の教育センターにて午前九時より、十八期卒業生のさかはし矢波氏による「さかはし矢波と東京フィルハーモニー交響楽団の仲間たちによる楽器クリニックと吹奏楽コンサート」が行われた。楽器クリニックでは、フルート、クラリネット、サックス、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、パーカッションの八パートに分かれ、百七十名を超える県内外の小中学生が第一線で活躍する演奏家の

さかはし矢波氏 コンサート開催



交響楽団団員によるコンサート



参加者全員での合奏



熱心に指導を受ける中学生



最後に、第二十二期生の「卒業三十周年集いの会」、文化祭での屋内バザー開催の連絡、及び永吉信夫奨学会についての紹介があり、滞りなく終了した。

平
幹 決算審査会が開催され、支予算案が審議され、承認され

平成 26 年度

幹事会(総会)報告

平成二十六年度の
同窓会幹事会（総会）

会費納入者芳名

21212121212121212121212121202020191919191919181818181717171615151414131312121111099976666544444333322 二萬四

水吉張中岩臼相齊鈴蘇吉八奧井荒土早山出閑柳榎遠柴鹿大松田杉酒會山長土山癸小島高龜下大荒石川野塙君松荒宮大茂柴小須大田善鈴柏田安沼岡替山下井沢藤木原田木山上井生乙崎井根澤木藤岡島岩本中山井澤本竹屋杉生鳥村岩田山島川原俣村沢塚永川澤河呂田野玉井久崎野木倉村部

厚川佐松鈴高小小金杵阿古寺吉本大神福藤川新石梁坂小立増新齋小鈴長熊宇鈴石川阿小間椎大石野藤福中
川鍋藤葉木橋平田子淵部野内田間貫永田井崎井川瀬本古石田井藤本木瀬倉貢木川田須谷中名畠村寺澤田村
長 內生 光宮山江新 高千
光 藤澤 野田井田村 村円
部 山 澤 間野

宏順明信成輝惠 雅浩修 明世幸教典昭秀登次 久 佐和 賢 惠勝孝きひひ宣 政幸清佳
之一美子美明司健靖子司孝望美津子之代代郎美忠智浩彰美公林子男夫ぬ等賀茂夫清孝香文男子以
子 子 子 由子 美康 子 子

平成 25 年度同窓会一般会計収支決算

平成 26 年度 同窓会一般会計収支予算

収入の部

項目		決算額	予算額	比較増△減額	備考
前年度繰越金		1,719,455	1,719,455	0	
会費	入会金（本年度卒業生）	818,000	800,000	18,000	2,000円×409名
	30年会費（本年度卒業生）	10,225,000	10,000,000	225,000	25,000円×409名
	30年会費（既卒者）	1,280,000	1,000,000	280,000	20,000円×64名
	年会費（既卒者）	178,000	100,000	78,000	2,000円×89名(延人数)
基金会計より繰り入れ		0	0	0	
雑収入		4,587	545	4,042	銀行利子
合計		14,225,042	13,620,000	605,042	

支出の部

項	目	決算額	予算額	比較増△減額	備考
運営費	印刷費	95,631	100,000	△ 4,369	
	通信運搬費	2,223,910	2,500,000	△ 276,090	
	機器備品費	766,090	300,000	466,090	プリンター・保管庫他
	消耗品費	86,489	100,000	△ 13,511	インクタンク他
会議費		262,960	300,000	△ 37,040	総会・本部役員会
事業費 (1)	会報出版費	985,525	1,000,000	△ 14,475	会報印刷
	名簿作成費	0	100,000	△ 100,000	
事業費 (2)	学園助成費	2,000,000	2,000,000	0	
	30年集いの会助成費	350,000	350,000	0	
	梅津杯助成費	0	0	0	
	クラス会助成費	160,000	300,000	△ 140,000	10,000円×16クラス
	補助費	791,535	800,000	△ 8,465	刈祭・コンサート・HP制作
記念品費		1,953,590	2,000,000	△ 46,410	卒業生記念品他
涉外費	涉外費	288,770	300,000	△ 11,230	なまざき歓迎会・親睦会
	広告費	375,900	200,000	175,900	ラグビー・ケーブルTVCM他
福利厚生費		130,000	200,000	△ 70,000	永年勤続者記念品他
慶弔費	弔慰金	125,250	100,000	25,250	
	見舞金	0	20,000	△ 20,000	
	通信費	0	5,000	△ 5,000	
積立金	基金会計繰入金	2,000,000	2,000,000	0	
	部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
	同窓会50周年記念積立金	0	0	0	
母校創立50周年協賛事業		0	0	0	
予備費		300,000	300,000	0	学園助成に充当
次年度繰越金・予備費		829,392	145,000	684,392	
合計		14,225,042	13,620,000	605,042	

収入の部

項目		予算額	前年度予算額	比較増△減減	備考
前 年 度 緯 越 金		104,333	1,719,455	△ 1,615,122	
会 費	入会金（本年度卒業生）	1,040,000	800,000	240,000	2,000円×520名
	30年会費(本年度卒業生)	13,000,000	10,000,000	3,000,000	25,000円×520名
	30年会費（既卒者）	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50名
	年会費（既卒者）	100,000	100,000	0	2,000円×50名
基金会計より繰り入れ		0	0	0	
雜 収 入		5,667	545	5,122	銀行利子
合 計		15,250,000	13,620,000	1,630,000	

支出の部

項 目		予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	備 考
運営費	印刷費	100,000	100,000	0	
	通信運搬費	2,500,000	2,500,000	0	会報発送他
	機器備品費	300,000	300,000	0	
	消耗品費	100,000	100,000	0	
会 議 費		300,000	300,000	0	
事業費 (1)	会報出版費	1,000,000	1,000,000	0	
	名簿作成費	100,000	100,000	0	
事業費 (2)	学園助成費	3,000,000	2,000,000	1,000,000	
	30年集いの会助成費	350,000	350,000	0	
	クラス会助成費	300,000	300,000	0	10,000円×30名クラス
	補助費	800,000	800,000	0	文化祭・コンサート他
記 念 品 費		2,500,000	2,000,000	500,000	卒業記念品他
涉外費	涉外費	300,000	300,000	0	教職員の会・なます後援会
	広告費	300,000	200,000	100,000	ケーブルTVCM他
福 利 厚 生 費		200,000	200,000	0	
慶弔費	弔慰金	200,000	100,000	100,000	
	見舞金	20,000	20,000	0	
	通信費	5,000	5,000	0	
積立金	基金会計繕入金	2,000,000	2,000,000	0	
	部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
予 備 費		300,000	300,000	0	
次 年 度 繼 越 金		75,000	145,000	△ 70,000	
合 計		15,250,000	13,620,000	1,630,000	

平成 27 年度 中学校・高等学校 生徒募集について

◆ご子弟が中学・高校の受験をお考えの方は、母校入試室にご相談ください。

高 校

**学力診断テスト
国栢チャレンジ** **10月13日(月・祝)** 場所/本校キャンパス・教育センター（栃木駅前）
入試の雰囲気を体験しながら、あなたの学力到達度が分かります。
〔判定〕(1)現在の学力（得点・順位等）(2)本校の各コースへの合格可能性
〔受験型〕5教科型または3教科型選択 〔受験料〕無料

入試説明会 **9月27日(土) 10月25日(土) 11月8日(土) 11月16日(日) 11月22日(土) 11月23日(日・祝)**
場所/本校キャンパス 時間/9:30～
12月13日(土) 12月21日(日)
場所/学園教育センター（栃木駅前） 時間/9:30～

入学試験日 **1月6日(火)単願 1月7日(水)併願 1月31日(土)単願・併願**



中 学 校

入試説明会 **9月13日(土) 10月11日(土) 10月25日(土)**
場所/本校キャンパス 時間/10:00～
11月8日(土)
場所/学園教育センター（栃木駅前） 時間/10:00～

入学試験日 **11月30日(日) 自己推薦入試（単願） 一般推薦入試（単願・併願）**
12月20日(土) 自己推薦入試（単願） 一般推薦入試（単願・併願）
1月18日(日) 自己推薦入試（単願） 一般推薦入試（単願・併願）

中 学 ・ 高 校 同 時 開 催

平日学校説明会 **6月4日(水)～12月17日(水)** 第1、3、5水曜日 **要予約** お電話にてお申し込みください。
場所/学園教育センター（栃木駅前） 時間/18:00～19:00 TEL0282-22-5511

**1日体験学習
come on in 国学院** **8月3日(日) 8月17日(日)** 場所/本校キャンパス 時間/9:00～12:30
国学院栃木をまるごと体験！ 予約なしで参加できます。

国学院祭【文化祭】 **9月6日(土) 時間/9:30～16:00 9月7日(日) 時間/9:00～15:30**
学校生活や入試についての相談も受け付けます。
【体育祭】 **9月20日(土) 時間/8:45～16:00 場所/本校キャンパス**

多くの同窓生にとって青春時代の三年間は思い出深く、素晴らしい経験だったに違いない。母校には、同窓生の子弟が多く在籍しているが、さらに孫の代も入学するようになり、祖父母・父母・在校生と三世代が同じ学び舎で学ぶようになってきている。

文化祭にはたくさんの同窓生が母校を訪れ、恩師の先生方や級友と再会を果たし、懐かしい時を共有する。また、卒業後は新たなタイミングで再会することもある。

編集後記

